第 11 回村上市総合計画審議会資料

資料Ｂ－３

平成 28 年８月３０日

基本計画分野別シート
（総務文教分科会）
修　正　分

政策５－２　生涯を通じた学習の推進

■ 現状と課題

〇市民講座、むらかみ出前講座、大学連携事業を開催してきましたが、活動を市全域に広めるためにも各地区公民館事業との連携を図り、ネットワークづくりを進める必要があります。また、学習活動の推進に関わる人材の育成や学習相談体制の強化を図るとともに、市民参画型の講座の企画・運営に取り組む必要があります。
〇個々のライフスタイル・ステージに応じた学習ニーズの充実のみならず、地域として必要な学習環境の充実を図る必要があります。
〇図書館業務についてはネットワーク事業により、地区図書館及び図書室、移動図書館により市全域での読書活動を推進してきましたが、図書館利用者ならびに移動図書館利用者の数は減少傾向にあります。今後は蔵書スペースの確保と、現在策定中の読書推進計画に基づく普及活動が必要です。
〇施設整備については老朽化が進んでいる施設から計画的に整備を進める必要があります。

■ 政策の方針

●学習の場・機会の充実や情報提供に努め、学習意欲と多様な価値観に対応した学習環境づくりを推進します。
●地域の特色や人材を活かし、多様なニーズに応じた学習体制の整備を推進します。
●次代を担う人材を地域で協力して育むための体制を維持・推進します。
●学習で得た知識や技術を、地域貢献活動等を通じて発揮・活用できる地域づくりや取組みを進めます。

■ 市民等の協力や役割

・学習機会への積極的参加
・地域指導者の連携

■ 主要施策

１　「知」の循環の推進　　～知識や学習の成果を共有し、学びが広がる広生涯学習～

〇 「学ぶ」ことで得られる知識・能力を発揮（見せる・伝える）する場の提供や拡大を図り、市民が「学ぶ」ことの満足感から「学んだ成果を活用し発揮する」ことの充実感に展開していく意識の高揚を図ります。
〇 学習で得た知識・技術が地域づくりや学校支援活動などにおいて発揮・伝承されることにより、「知の循環」を基軸に「知の発展」への展開を図ります。
〇 学習活動初期～学習発展期における図書活用の有効性について、市民意識の高揚を図ります。

２　地域ニーズに即した学習環境の充実

〇 社会情勢の変化を的確にとらえた高度な学習機会の提供を迅速に行います。
〇 既存社会教育関係施設を地域に即した管理・使用形態への移行を図るとともに、老朽施設の廃止・解体を図ります。
〇 子ども達の学習や体験活動に関わるすべての市民が充実感を持って参画できる仕組みづくりを推進します。
〇 蔵書等、保管資料の適切な保管が図られるよう、保管場所の確保とともに必要設備を整備します。

■ 主な目標値（指標）

項　　目	単位	現況値	H33 目標値
学習展開目的講座の開設数	講座	1	5
講座参加者同士によるサークル等団体の形成	団体	0	3